

リスク評価（一次）評価Ⅱにおけるブロモメタン（臭化メチル）の評価結果について  
（案）（生態影響）

＜評価結果及び今後の対応について＞

- ブロモメタン（臭化メチル）について、生態影響に係る有害性評価として、既存の有害性データから水生生物に対する予測無影響濃度（PNEC）を導出し、暴露評価として、化審法の届出情報、PRTR 情報等に基づく予測環境中濃度（PEC）の計算、環境モニタリングによる実測濃度の収集整理等を行った。リスク評価としてこれらと比較した結果、PEC 及び環境モニタリングによる実測濃度のいずれも PNEC を超えた地点はなかった。また、製造・輸入数量及び排出量は減少傾向であった。
- このことから、現在推計される暴露濃度では、ブロモメタン（臭化メチル）による環境の汚染により広範な地域での生活環境動植物の生息もしくは生育に係る被害を生ずるおそれがあるとは認められないと考えられる。
- なお、ブロモメタン（臭化メチル）は人健康影響の観点からは評価Ⅰ継続中であるため、引き続き優先評価化学物質とする。

（以上）